八重桜

●発行／桜の聖母短期大学同窓会
〒960-8112　福島市花園町3-6
Tel・Fax 024-534-4572
（534-7137 短大事務室）
平成25年3月末現在
卒業生総数／10,820名

学生会「あかしや祭」に協賛
第8回チャリティーバザー開催

平成25年11月3日(日)あかしや祭に協賛、バザーが開かれた。春3月幼稚園新築工事が始まり、同窓会室（マリアンホール4階）から眼下に工事進捗を眺める日々が続くと、同窓会で「新しくなる幼稚園のためチャリティーバザーを」の声が上がった。短大保育コースの応援にも繋がるのではとの意見も出た。

桜の聖母学院幼稚園　新園舎を支援

（関連記事P.5）

顧問や32期から新設されたボランティア登録員の応援も得た。日用品、リサイクル品、手作り品など、県内、関東、関西、仙台方面の会員から善意の販売品が集まった。当日好天に恵まれ、会場（マリアンホール・Rm.165；166）には多くのお客さまが集まった。格安の品々、手作り品、焼きたてパン、生卵など、好評な売れ行きだった。バザー会場には、CND聖品や「アジアの風」（カトリック中央協議会関係）のコーナーもあり、賑やかで、楽しい空気に包まれた。

生涯学習センターと共催
展示も好評

あかしや祭の集客、応援をかね、生涯学習センターと共催で、初の展示コーナーを設けた。盆栽、こけし、生け花、布草履、戸塚刺繍、クレイクラフト、レザーバッグなどの出展があり、人々の目を楽しませた。（出展者名P.9）

収益金を聖母幼稚園へ

11月25日、学院長柴田香代子先生、幼稚園園長川田紀美子先生に来室いただき、齋藤良子会長が益金15万円を学院長に贈呈した。ボランティアスタッフ、顧問、役員は新園舎誕生にお祝いの拍手を送った。（園長川田紀美子先生より支援金のお礼の言葉をいただきました。P.6）

新会長あいさつ
「広げよう会員の輪・和」

会長　齋藤　良子（12回家政学科卒）

ごきげんよう。

皆様いかがお過ごしでいらっしゃいますか。

この度、会長という大役を引き受けることとなり、大変恐縮に思うと同時に、身の引き締まる気持ちでいっぱいでございます。また、前会長小林静様はじめ、役員の方々の御苦労に感謝すると共に、間もなく六十年という同窓会の歴史を次期役員の方にバトンタッチするまで、役員一同力を合わせて運営して参りたいと思います。

さて、今期は、会の目的であります「会員相互の親睦を図る」ことに重点をおき、会員の皆様のつながりをより一層強めたいと考えております。このため ①運営検討委員会 ②広報委員会 ③ボランティア委員会という三つの委員会を設けました。

①運営検討委員会では、上野正治先生にアドバイザーをお願いし、会則の見直しや将来を見据えた会の在り方などを検討しております。

②広報委員会では、ホームページの充実や会員により親しまれる『八重桜』の編集を心がけます。

③ボランティア委員会は、今期初めて登録制とし、様々な活動を役員と共に支援していただくこととしています。ボランティアは、随時募集しておりますので、どうぞ皆様のご協力をお願いいたします。

皆様のご多幸をお祈り致します。

第32期 同窓会役員
（任期2年）

会長	齋藤良子	(12K)
副会長	橋本宮子	(7K)
	紺野眞弓	(26K)
	橘琴江	(14D)
会計	酒井洋子	(18E)
会計	阿部カネ	(1E)
監事	平田泰子	(6E)
	岡田洋子	(2E)
会計監査	大沼ヒサ子	(11K)
	本多和子	(12K)
顧問	佐々木利子	(14D)
	村上優子	(15E)
	小林静	(22E)

第32期 通常総会 （第4回 ホームカミングデー） 2013年6月2日 桜の聖母短期大学同窓会

第32期 通常総会終わる

第32期通常総会は、平成25年6月2日桜の聖母短期大学に於いて、名誉顧問Sr.柴田香代子学院長・同Sr.遠藤静子学長をお迎えして開催された。会報『八重桜』の発行、短大・生涯学習センター等への支援事業計画、新役員も承認された。また、緊急提案により公平中立の立場で会計処理を監査する為、会則の一部を改正し、会計監査を2名おくことが可決された。

なごやかに 第4回ホームカミングデー

CND記念室見学も

午後からは、第4回ホームカミングデーが開催され、参加した方々は恩師、旧友と親交を深め「古希・還暦」のお祝いと賑やかなひと時となった。最後にSr今泉ヒナ子先生の「感謝の祈り」にて会が御開きとなった。この後希望者はCND記念室見学や各回生毎のクラス会に向かった。

同窓会活動協力者

○広報委員

『八重桜』編集協力者を若干名置くことしています。

14D 河野 順子
22K 星 万弓

○ボランティアスタッフ

活動協力者として登録いただいた方々。

6E 佐々木久子
6K 瀬谷 純子
6K 鈴木 京子
8E 佐藤満寿子
8K 阿部 靖子
9K 三品 一恵
14E 中村チヨ子
14D 河野 順子
15K 加藤 好枝
15K 岸 知子
18K 岩田 敏子
21D 伊藤 裕子
22K 星 万弓
25E 矢吹 智子
31E 高野 由香

第57回生委員（平成24年度卒業）

英語学科 加藤 朋栄
齋藤 麻生

生活科学科 福祉こども専攻
ライフデザインコース 加藤 詩帆
菅野 里絵

生活科学科 福祉こども専攻
こども保育コース 近野 美咲
佐久間奈穂

生活科学科 食物栄養専攻 佐藤 葉月
高橋 実央

第58回生委員（平成25年度卒業）

キャリア教養学科 上村 優香
菅野 真由

生活科学科 福祉こども専攻
こども保育コース 斉藤 和香
日笠 葵

生活科学科 食物栄養専攻 菅野 楓
西川 千尋

CND記念室

＝見学のご案内＝

場所：桜の聖母短大2階
いつでもご自由に入室できます。（短大受付へ）
月～金

ホームカミングデーとクラス会に参加して

卒後50年古希祝　7･8回生 ／ 卒後40年還暦祝　17･18回生

短大を卒業して、いつのまにかはや51年がすぎました。夢多き乙女だった私達も古希を迎え、第4回ホームカミングデーでお祝いをしていただきました。先生、友人に久しぶりにおあいしうれしさと懐かしさで胸が一杯になりました。その後岳温泉櫟平ホテルで7回生クラス会をしました。参加者11名思い出話に花を咲かせ幸せな時を過ごしました。クラスメートの皆様はそれぞれ当時の面影を残しながら上手に年を重ねておられました。次の再会が楽しみです。71年の人生の中の2年間ではありますがすてきな先生のもとで無心に学び友と語らった日々は宝物だったと思います。母校の発展をお祈りしております。

7回生　佐藤　直子

懐かしい花園町に参りましても、私達の学舎と旧修道院の建物はなくなりましたが、新校舎に一歩入りますと母校の雰囲気はそのまま感じられ皆様にお会いして大変楽しませて頂きました。8回生は5名の出席でしたが、夜の土湯温泉には合同で22名集まり、「お久しぶり!!」と言っては大きな笑顔になり、おしゃべり・歌・踊り・クイズ(手作りの賞品付)有りで、大いに盛り上がりました。各人の近況報告では短大で学んだ愛の精神がしっかりと心に根づいた誠実な人生を歩まれていることを知り、嬉しい再会でした。そして全員で復興支援ソング「花は咲く」を唄い、皆様の幸せを祈ってお別れしました。

8回生　吉川　千恵

還暦を何とか無事に迎えることができました。40年の歳月は長いようであっという間でした。還暦と古希のお祝いを母校でして下さるとは、愛と奉仕の精神がここにもあり、感謝の気持ちでいっぱいです。懐かしい先生方や先輩後輩に見守られ心温まる時間を過ごさせて頂きました。その後、飯坂温泉にてクラス会を行いました。顔ぶれはいくらかホムカミの時と違いましたが、EKDもなく40年の歳月は皆をオバタリアンと変身させ、お腹を抱えて笑い通しの一晩でした。10年後も元気で古希を迎えましょうと誓い合いました。

17回生　北目　純子

ちょうど昨年の今ごろ回生委員会のお知らせがあり、あまり深く考えもせず久しぶりに母校の門をくぐりました。ホームカミングデー？還暦？誰が？えっ私達なの？の調子で、あまり積極的とは言えないままいよいよ6月2日の当日を迎えました。就職、結婚、子育てとそれぞれの時を経て、宿の宴会で見た皆さんは輝いて素敵に見えたのは私だけではなかったはず。改めて、ホームカミングデーで再会できた喜び。すべての出会いをとりもって下さったマリア様に感謝するものです。次の再会の為に健康でありたいと回生委員一同誓いました。

18回生　小川マチ子

現況報告

桜の聖母短大の今

桜の聖母短期大学
学長　遠藤　静子

キリスト・イエスが、私たちに伝えた重要なことは、「神は私たちの父である。父から遣わされたイエス・キリストを信じなさい。世の終わりまで私たちを守る神は聖霊である。」でした。私たちにどんなことが起ころうとも、それは死で終わらないという復活信仰とは、このことです。私たちは、この信仰の力で、東日本大震災とその後の二次災害である東京電力福島第一原発の水素爆発に伴う放射性物質の拡散という災厄に見舞われても、なお希望を捨てずにここで生活をすることができます。

桜の聖母短期大学の学生には、短大の学びの中で、〝自信〟を持ち、自尊心を培ってほしいと思っています。地域のボランティア活動に参加し、建学の精神である「愛と奉仕の精神」の実践的学びを通しても自尊心が培われます。学内には学生を育てている場がたくさんあり有機的に繋がっていますが、私が関わっている一つに「人間学」の授業があります。

この授業を紹介します。ここでは、「7つの習慣」というツールをつかい「人間の生き方」と「自分がなりたいイメージ」を追求し、自分が決めたチャレンジに取り組みます。私はこの授業をしながら、毎回学生の変容に驚き、感動しています。

ここに一人の学生の、第5の習慣「Win-Winの考える」の振り返りを紹介しましょう。

「私はこの人間学で〝Win-Winの考える〟という生き方を学ぶ前までは、相手より自分を優先して生きていた。だが、自分さえ良ければよいという自己中心的な生き方では、真の人間関係は築けず、結局自分も駄目になる。この学びを生かすために、まず私は周りの友達と一緒に勉強をした。今までは、一生懸命苦労して得た知識を人に教えることに抵抗があったが、人に教えることで私も理解を深めたいと思ったので、相手に解るように教えた。するとその友人は、真剣に私の話を聴いてくれた。本当に嬉しかった。」

私は7年の間、中・高校生・短大生に自分育てのツールとして「7つの習慣」を使ってきました。人格教育の方法にはいろいろありますが、私はこのツールに出会ったとき、「これは優れもの」と確信しました。この時期にこの授業ができたことに、摂理を感じています。そして、この考えと習慣をもった学生の生き方の延長線上に、イエス・キリストの教えがしっかり根付いていることも実感しています。

人ひと「被災学生の支援と学生ボランティア活動の輪」

短期大学教育第68号（2012.5）に寄稿

学生部長　橋谷田 恵子さん

プロフィール：桜の聖母短期大学英語科第22回卒業。卒業後、理事長・学長秘書、入試広報、生涯学習センター等の業務を経て、平成24年4月から学生部長。

Q1：「短期大学教育」第68号に寄稿された報告「被災学生の支援と学生ボランティア活動の輪」の内容についてご説明ください。

A1：この報告は、東日本大震災の時に本学が学生に対して行った支援活動の様子や、その後学生達が行ったボランティア活動について書いています。震災当日は、家に帰れない学生たちに炊き出しをして、学生ホールで共に不安な一夜を明かしました。今回の震災のように、「想定外」という状況にあっては、自分達の「判断力」と「実行力」で行動するしかありませんでした。学生達のボランティア活動は、震災直後から、活発に行われていました。やはり、建学の精神「愛と奉仕の精神」が、浸透していることを感じました。

Q2：今の学生の気質はどうでしょうか？

A1：昔の卒業生の方から見れば、服装、言葉遣いなど、気になるかもしれませんが、基本的には「素直」で「明るい」元気な学生達です。また、「思いやり」の気持ちも持っていますので、色んな場面で、周囲の人たちの気持ちを考えられる学生が多いと思います。

Q3：学生部長として、今取り組んでいる課題はどんなことですか？

A3：やはり、震災以後さらに強く感じていることになりますが、「人間力」の育成が課題だと思っています。復興の担い手としてのニーズとしても必要な条件ですが、様々な問題が起きた時に、その問題に自分で向き合い、しっかりと考えて、選択し行動に移すということが必要になってきます。これは正課だけでなく、学生会やサークル活動などの課外活動等でも力をつけることができると思っています。2年間で、学生一人ひとりが、自分に自信を持って持てる力を発揮できるようになって欲しいと願っています。そのためには、私たち教職員が、常に学生に寄り添い必要な時にサポートできるような体制を整えることが必要だと思っております。

桜の聖母学院幼稚園新園舎落成

国内外カトリック関係からの支援を受けて

福島復興希望の星
屋内に運動場を整備

平成25年9月、新園舎が完成。同7日に落成式を行った。仙台教区長 平賀徹夫司教様の司式により新園舎祝別で始まった。聖書朗読、司教様のお話などに続き、園児が喜びいっぱいの表情で園歌などを歌った。招待された福島市内幼稚園や工事関係者、また学院関係者らも喜びを共にした。

新園舎は、旧園舎と同じ敷地内に鉄骨造り1階建て、床面積788・95㎡（旧園舎の約1・9倍）、建物内部の南側に195・20㎡の屋内運動場が整備されている。屋内運動場は三方ガラス張りで、石塀が壊されたフェンス越しの道路からは、園児が滑り台などで遊ぶ喜々とした様子が見える。

式後、園内を見学した参列者からは、行き届いた設備の数々に感動の声が上がった。

▲新園舎

▲園舎の完成を祝い、歌を歌う園児
（写真：福島民友新聞社 平成25年9月8日より）

～学院復興プラン～

Ⅰ 教育環境と施設の安全対策
（1）小学校木造校舎の建替工事
（2）小学校体育館の建替工事
（3）小学校プールの建替工事
（4）中高校舎（ABKC棟）の耐震補強工事
（5）短期大学キャンパスの整備

Ⅱ 各学校の適正規模への移行
（1）中高新コース制の検討
（2）短大設置学科の改組転換策の検討

Ⅲ 教育力の充実向上
（1）小学校教育力の向上
（2）中高教科指導力の向上と進路指導力の向上
（3）短大FD・SDの充実

Ⅳ 建学の精神への理解深化
（1）全学院及び各部門での宗教研修
（2）創立者の遺志の伝承（カナダ研修）

挨拶

桜の聖母学院幼稚園 新園舎落成式挨拶（平成25年9月7日）より

学院長 柴田 香代子

幼稚園新園舎落成式のため、ご多忙の中、足をお運びいただき誠に有難うございます。

東日本大震災以前から園舎の建て替えプランは持っておりましたが、はからずも、旧修道院と旧園舎は壊滅的な被害を受けてしまいました。園児たち教職員は全員無事でした。隣接した小学校の教室を借りて再開いたしました。

その後、放射能の除染のため、遊具や樹木は撤去し、園庭の除染を2回繰り返すなど、思いがけない仕事が多発しておりました。

プラン作りにおいて、現実的に教室は半減し、園庭を屋内に作ることを余儀なくされました。放射能による園児の国内外への避難はいつ終わるか予想は出来ません。外遊びの出来なくなった福島の子どもたちの体力・運動力は目に見えて落ちています。少しでも補いたく屋内運動場をつくりました。戸外でのびのびと遊べる日が一日も早くきますように願っております。

新園舎は建築BOXオカモトと地元大丸工務店のご協力により3月1日に着工し、7月31日に予定通り見事に完成いたしました。原発収束がままならぬ福島での建設は働く人の人材不足など沢山の困難がおありになったこともよく存じております。その中で献身的に福島に幼稚園が立つことにご協力くださいました。感謝で一杯です。沢山のご苦労をおかけいたしました。

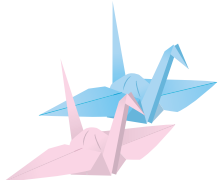
また、資金面での多くの方々のご援助についても感謝申し上げたいと思います。

カトリック幼稚園である故に、仙台教区長であられる平賀司教様を始め国内国外の多くのカトリック教会・修道会からのご援助、また心ある方々からご厚志をいただきました。尚、これから国・県・市当局からのご援助もいただき、この建物は多方面の方々の福島復興への熱い思いの結晶でございます。

建物が完成し始めると、道行く多くの方々から「これは福島復興の希望の星ですね」と励ましのお言葉をいただきました。

これらのご厚意にお答えするために私どもは心を新たに桜の聖母学院として、福島復興に貢献する若者をこれからも育ててゆきたいと念願いたしております。

簡単ですが感謝の言葉とさせていただきます。



幼稚園新園舎 支援金のお礼

桜の聖母学院幼稚園園長
川田　紀美子

12年ぶりに再び赴任したその年、3・11の大震災に遭いました。以来、世界各地の方々からご支援いただき、どうにか幼稚園園舎の完成を見ることが出来ました。

過日、同窓会役員の皆様からお手渡しいただきました大きく、おやさしいお心に教職員一同厚く御礼申し上げます。

震災以降、真向かいにある小学校一階を借用し、2年半不自由な園生活をして参りましたが、2学期から新園舎で新たにスタートを切りました。定員の半数という園児数の現状に合わせた園舎となりました。今もなお、外遊びもままならず室内広場でブランコ・すべり台・鉄棒・砂遊びをしております。

しかし、子どもたちは寒さにも負けず元気に過ごしております。先日行われました七五三のお祝いは、お天気にも恵まれ、あたたかな雰囲気の中で行うことが出来ました。おメダイを頂いた子どもたちは、嬉しそうに保護者や友達に見せていました。また、今は、12月に行われるクリスマス祝賀式に向けて、聖劇の準備を進めているところです。「わたしは、マリア様の役がいいな」、「ひつじさんの役も、かわいいね」と、子どもたちは今から楽しみにしています。

本園の為にお寄せくださった温かいご支援を今後の発展に反映させ、更なる教育の充実に邁進いたしたいと念じております。

末筆ながら、皆様の上にマリア様のご加護がありますようお祈り申し上げます。ありがとうございました。

（CND会員、桜の聖母短大英語学科卒）

私の学生時代

写真：卒業アルバムから

20回英語学科卒
伊達　幸子さん（CND会員）

プロフィール
CND入会年　　1989年（初誓願）
清泉女子大学大学院　人文科学研究科卒
平成23年4月から桜の聖母学院中高等学校長

私が桜の聖母短大に在籍していた頃は、シスターフランセス・カーワン学長様の時で、学内にたくさんのシスターがいらっしゃり、少人数の丁寧な教育を受けたと感謝しています。短大2年の終わりごろ、就職試験に何度も落ちて失意の中にあった時、5、6人の英会話クラスで氏家先生が、「今日のテーマは何にしましょうか」と質問されました。すでに就職先が決まっていた友達（T銀行、N銀行など有名な企業に合格していた）は、「将来の夢」とか「これからチャレンジしたいこと」など、前向きなテーマを出したのですが、将来の道が見えない私は、「まだ、就職が決まっていないので…」などと、暗い話をしたら、氏家先生が気を利かせて「今日は、Miss Dateを励ますことにしましょう」と仰ってくださったのです。こちらは、びっくりするやら恥ずかしいやら。ともかく、友達は言葉を選びながら、精一杯、私への励ましの言葉を言ってくれたのです。このような声援を受けて気を取り直し、（次の会社は受かる見込みは全くなかったのですが）駄目で元々という気になって受験したら、なんと、採用していただけたのでした。

私が周りの人からの励ましを受けて勇気を得、試験に再チャレンジできたように、これからの私の使命は、生徒たちに励ましの言葉をかけ、彼らがどんな困難なことに直面してもあきらめないでと祈り、喜びや悲しみを共にしながら歩んでいくことであると思っています。

短信あれこれ

第32期通常総会の返信はがきの近況欄に寄せられました。原文を一部変更させていただきましたことをご了承ください。

八 重桜のご送付、いつも有難うございます。皆様のご活躍に脱帽と感謝！陰乍ら益々のご健勝と発展を祈ります。微力ですが看護の仕事と書道教師で現役です。常に母校を誇りに思いつつ、最後まで「置かれた場所で咲きたい」と願いながら頑張ります。Sr.今泉ヒナ子先生はじめ皆々様にご鳳声を!!
（1K　関野恵美子　東京都）

8 年半続けたアンティーク雑貨店を閉めイギリスに住む娘のところに3か月程行って参ります。もっと英語をしっかり勉強しておけばよかったと思うこの頃ですが、発音だけはいつも誉められます。お陰様で！
（8E　平山恵子　熊本市）

昨 年から自宅で茶道を教え始めました。小高からの避難の人を含めて毎回楽しくお稽古しております。
（11E　矢吹弘子　福島市）

震 災後、しいたけ生産農家として原発の影響をもろに受けております。何とか頑張っています。
（12K　須藤瑩子　郡山市）

聖 母の幼稚園、小学校で宗教を教えています。
（16E　江川幸子　福島市）

姉 妹校の明治学園の売店で働いております。小学生から高校生のお客

様と保護者の方々にいたるまで…デパートの方々の苦労がちょっぴりわかる気がしているところです。

（20D　古山由美子　北九州市ノートルダム修道院）

公 立小学校の特別支援教育支援員として、発達障害のある生徒の学習活動を支援しています。毎日が勉強です。

（22K　冨士原正子　川口市）

現 在は専業主婦をしておりますが、図書館の音訳者や産業カウンセラー協会の広報会員部にも籍を置いており結構忙しくしています。担任だったカレン先生の近況を伺いたいです。

（23E　東　弥生　東京都）

東 日本大震災発生直後から被災された方々への支援活動で、郡山市や三春町へ避難されている方々への支援を行っています。在校生と共に活動する機会もありそんな時は何となくワクワクしています。（23K　吉田紀子　郡山市）

中 学校の事務の仕事の手伝いをさせていただいております。事務ですので、直接子ども達との交流はありませんが、「おはようございます」「こんにちは」の元気な声にパワーをもらっています。もう少し仕事を続けてみようかと思っております。（24E　角田恵美子）

富 谷町子育て支援課で管理栄養士として勤務しています。ランニングにはまり大会に出場しています。

（27D　菅原順子　黒川郡）

「C ND記念室」の見学は自由にできるのでしょうか？見学可能な日時等を「八重桜」次号にてお知らせ頂けたらうれしいです。

（30K　小林千寿子　横浜市）

白 田きち先生と友人達と聖書を読んだあの旧修道院が解体されるニュースを偶然目にした時は涙がこぼれました。震災直後4月に1人目の子が大学へ進学、2年後の今年は2人目の子も大学へ…どんな事があっても生きている、生かされていることへの感謝の気持ちで日々生活しています。学生の時に学んだ聖書の言葉と聖歌で育児に励んで参りました。旧修道院の姿はいつまでも私の心の中にあり続けます。

（30K　安部悦子　郡山市）

フ リーランスの管理栄養士として、多岐にわたるお仕事を頂き充実した日々を送っています。震災関連ニュースを見る度に母校を思います。自分に何が出来るのか…考えることを止めず小さな行動をおこしていけたらと思います。

（31D　古谷千早　横浜市）

桜 の聖母幼・小・短大で学んだ英語をいかし、こども英会話の講師となって6年になります。「英語学科」という名が消えてしまったことに寂しさを感じていますが、〝生きた英語を使いこなし〟という時代にふさわしいカリキュラムになり、ますます活気ある素敵な女性が社会に増えていくことを期待しています。（35E　菅野貴江　大崎市）

子 育てしながら寿司店の女将として頑張っています。

（36D　熊田純子　須賀川市）

「今、訪ねなければ見られなくなるのではないか？」との思いに駆られ、2010年の夏、旧修道院の階段に飾られていたキリストの絵画に会いに行きました。シスターが建物内を詳しく案内してくださり、在学中は知らなかった修道院と聖母の歴史を学ばせていただきました。2012年の夏にも再訪し、父と私、10歳の長女の3人で、マリア像と共に記念撮影をさせていただきました。

（37K　福本史恵　鳥取市）

食 物栄養科を卒業後、地元市内病院にて栄養士歴18年となりました。3人の子宝にも恵まれ、仕事と両立!?しております。

（38D　橋本明美　二本松市）

現 在、3才6ヶ月の娘を保育所へ預けながら仕事を続けております。桜の聖母生涯学習センターが、郡山にも開設されてうれしいです。時間があれば、ぜひ利用したいです。

（39E　酒井悦子　郡山市）

3 人の子を持つ母として、仕事を持つ妻として、日々忙しくしております。第2のふるさと・福島に少しでも多くの笑顔の花が咲きますように。いつも応援しています。

（39E　信濃恵美子　角田市）

南 相馬市役所で広報担当しています。聖母の後輩たちが『道の駅みなみそうま』で移動文化祭を行った時、一眼レフカメラ片手に取材しました。沢山の笑顔をありがとう。

（41D　渡辺悦子　南相馬市）

皆 様ごきげんよう。今私は、フルタイムで働きながら1才の男の子を育てています。驚きと感動の日々です。元気いっぱいの息子にいつも元気をもらったり、癒されたり♡そんな毎日です。

（44D　和田沙織　須賀川市）

2 009年に息子が生まれ、保育園に入れて仕事は続けています。仕事、育児、家事と毎日あっという間に過ぎていきます。（45L　脇坂麻衣子　福島市）

就 職して10年目、主婦業との両立に頑張っています。

（47L　佐々木香奈子　福島市）

今 年いっぱい、キリスト教の学生の為の宣教師としての働きを、オーストラリアのメルボルンでしています。

（49E　菊地恵実　母代筆）

「み ず和の郷」（☆念願の直営☆）で栄養士をしています。今年始めての管理を受験しましたが、残念ながら不合格でした。来年も頑張って受けます。※施設で栄養士、調理員が不足で誰か紹介お願い致します。

（49D　宮崎晃子　福島市）

ス イーツデコの作品を作り、展示、販売をして活動中。

（50E　本間麻実　福島市）

愛 知県春日井市にある中部大学に編入し、25年度に4年生になります。アメリカ・オハイオ州のオハイオ大学大学院入学へ向けて毎日勉学に励んでいます。（52E　籏野彩華　名古屋市）

卒 業して今年で6年目。保育士も6年目になりました。毎日笑っています!!（52CH　紺野美夏　伊達市）

3 月25日に筑波大学社会・国際学群社会学類を無事に卒業し、晴れて4月から社会人になります。短大卒業後2年間浪人して編入した私ですが、聖母での日々は今でも活きています。聖母卒業生として胸を張って今後も頑張ります。

（53E　鈴木愛恵　つくば市）

娘 は名古屋の大学の図書館で働いています。英語力を生かして時々海外にも旅行したりと今の生活を楽しんでいる様子です。

（54E　伊藤美穂　母代筆　郡山市）

今 年福島大学を卒業します。そして4～8月はUSAで語学研修とインターンシップ、10月から2年間はJICAボランティアでグァテマラへ行く予定です。世界を楽しんできます。

（55E　猪本恵美　福島市）

地 元の薬局で医療事務として働いています。

（55E　鈴木梨沙　西白河郡）

2 年前の3・11卒業式の予行中に大震災に遭遇したことは忘れられません。郡山の孫2人は山形へ避難しております。聖母で過ごした2年間は珠玉のような日々でした。現在も月に2回、聖母の図書館に行き楽しいひとときを過ごしています。（55E　渡辺恵子　郡山市）

野 田保育所で、1、2歳児クラス15名のかわいい子どもたちの担任をしています。

（55CH　椎根李佳　福島市）

宮 城県角田市の枝野児童クラブに勤務して2年目です。1年生4人、3年生5人、4年生1人の児童たちと毎日楽しく過ごしております。

（56CF　齋藤　忍　角田市）

東 日本大震災から2年、福島の皆様如何お過ごしでしょうか。昨年は心不全で入院しましたが、一年が経ち今は元気で過ごして居り、又ボランティア活動を始めました。

（1K　斎藤信子　柏市）

ボ ランティア活動や民生委員活動などで得た素晴らしい友人の大切さをしみじみ感じております。昨年11月、52年間連れ添った夫を亡くし、まだ無我夢中の状態ですが、この活動は夫の理解と協力があったればこそ出来たと、感謝しています。（1K　集貝美枝　幸手市）

好 きなテニスと水彩画をまだ続けておりますが、どちらも遂に下手なままです。

（2E　鈴木眞理子　東京都）

い よいよ後期高齢者と呼ばれる年齢になり驚いております。でも心と身体は元気元気で、毎日公民館に出かけております。ちなみにコーラス、オカリナ、マージャン、ストレッチ体操、フォークダンスと頑張っております。

（2K　中西とも子　市川市）

八 重の桜で会津弁を聞き、小さい頃母の実家に行った事をなつかしく思っています。

（4K　小田友子　東京都）

長 い間ホームステイ・ボランティアとして沢山の外国の方々をお引受けし、その方々に日本語を教えたりして忙しくして参りましたが、それらを卒業した現在も家の中の雑事におわれ忙しく過ごしております。

（4E　半沢佐代子　いわき市）

一 病息災の状態です。でも口は元気で、5年くらい水戸市の偕楽園や弘道館の英語案内ボランティアをしております。来年からは日本語の方もしようと今研修中でその間は病気の事を忘れていられます。古稀祝いの時は必ず出席したいと思っています。

（11E　三輪民子　水戸市）

在 日外国人に日本語を教えるようになり今年で11年目となりました。やさしい日本語で話すことに心がける日々が続き、漢字の熟語がなかなか思い出せない今日この頃です。

（12E　磯谷喜代子　柏市）

先 日修道院の前を通りました。もう何もなくなってしまって…。でも、私の心の中には、まだ修道院が健在です。ごきげんよう。

（13K　長谷部俊子　須賀川市）

「記 念室を設置」の記事を読み、次の帰省の時にはぜひ伺ってみたいと思いました。2年前の震災後の夏、30年ぶりに短大の校内に入った時は、少し寂しく感じられましたが、記念室をみれば嬉しくなるかも…？楽しみです。

（14E　酒井美子　上尾市）

放 射線量が比較的高い地域に住み、孫達の事を心配しながらの日々です。しかし、前進しなければよりよい結果を得ることが難しいので一歩一歩しっかり歩んでいます。除染に期待しながら。

（14E　中村チヨ子　福島市）

本 当に60才を過ぎると心身共にガタガタになります。しかし、少人数の英語塾も約30年がたちました。仕事に支えられてここまできたように思います。これも聖母のお陰と感謝しています。3才の孫に夢中です。

（15E　磯部なな子　京都市）

父 も母も亡くなり、震災後、竹屋旅館も取り壊されて帰る実家が無くなりました。（17K　芝垣弘子　南足柄市）

思 いもかけない3・11による旧修道院の解体は本当に悲しいものでした。しかし短大2階に「記念室」を設置したとのお知らせ。良かったと思うとともに訪れてみたい場所となりました。

（23E　染宮千美　鹿沼市）

卒 業してから月日は経ちましたが、音信不通だったリトルと偶然に再会し、またお付き合いが始まりました。友人と時々連絡を取って近況を報告し合い、その時ばかりは学生時代にタイムスリップします。

（28D　渡部のり子　郡山市）

あかしや祭

喫茶「マーガレット」

「コーヒー」の芳醇な香りに誘われご来店された皆様ありがとうございました。少しは「おもてなし」が出来たと思います。

来年も開催の予定ですので、是非学生時代に戻ってゆっくりと、思い出話に、花が咲きますようお待ちしております。

バザーに参加して

14E　中村チヨ子

あかしや祭の参加は卒業以来のことでした。準備の日から45年前の自分に戻り、会員、学生の皆さんと共に張り切ってしまいました。強く印象に残り嬉しかったことは、学生の方々に「心のゆとり」を感じられたことです。周囲の状況を見て判断し行動する心。その心を育てる教育が絶えることなく脈々と流れている事を確信し大変嬉しく思います。私自身これからも「今、自分に何ができるか。」を心に留めて歩んで行きます。

「展示作品」

（敬称略）

盆栽　事務長・センター長　遠藤　修司
「みちのくこけしたち」　12K　本多　和子
戸塚刺繍　8K　赤沼久美子
小物　8K　阿部　靖子
布草履　8E　佐藤満寿子
クレイクラフト　14D　佐藤　雅子
クレイクラフト　14D　佐々木利戸
レザーバッグ　18K　岩田　敏子
生け花　7K　橋本　宮子

※赤沼久美子さんの戸塚刺繍、作品名「八重桜」は本学に寄贈されました。

「販売品」

手作りパン　15E　村上　優子
手作りキャンディー　21D　伊藤　裕子
生卵　8K　三品　一恵

来年の開催にむけて

◎毎年人気の贈答品や日用品、手作りパンや菓子等は販売個数等を制限し、たくさんの方々が購入できるようにする。

◎展示会場や喫茶「マーガレット」は会場がわかり易く目立つようにして、アピールしていく。

※協賛しても良い品をお持ちの方は是非同窓会事務局へ搬入下さい。

グリーンボランティア活動

12月2日午後、天気がよかったので短大正面玄関脇にて4人のボランティアが参加して4鉢の植え替え作業をしました。寒さに強いガーデンシクラメン、バラ咲きジュリアン、アリッサムなど赤、黄、白、ピンクと色どりよく植えました。生涯学習センター入口と学生通用門を通った時ぜひご覧ください。今回鉢皿を用意したので室内に置くことができ、寒い日でも安心です。春まできれいに花を咲かせてくれるでしょう。

第8回 いこいの広場

平成25年11月9日(土)に花園町修道院に於いて開催されました。

修道院長Sr.笠原節子先生とSr.今泉ヒナ子先生のご指導のもと、〝出会い〟について昔を振り返って自分を見つめ直す時間を持つことができました。有意義な一日でした。

【予告】第9回 いこいの広場予定
日：平成26年6月15日(日)
　　午前10時～午後
会　場：花園町修道院
リーダー：Sr笠原節子先生
テーマ：未定
会　費：1000円(当日)
※参加ご希望の方は事務局までお申し込みください。

「再会を願って」

6E　佐々木久子

六魂祭の真っ只中、私達6回生19名は野地温泉に向かい、同級生の遠藤静子さんが学長に就任されたことをお祝いしました。帰天された恩師・同級生の物故者にお祈りし、近況報告をしました。翌日は会津若松まで足を延ばし会津人の魂にふれ楽しい一日を過ごしました。母校は〝愛と奉仕の精神〟をモットーに学長の元で本物の教育を受けていることを誇りに思いながら再会を約束しました。

二本松支部だより

仲よく　楽しく　元気よく

2E　岡田　洋子

平成23年にうぶ声をあげて、細々と活動を続けています。タイトルどおりに、仲よく、楽しく、元気よく活動を続けております。久能さんのお店は、会員同士の連絡の拠点で、必要があればすぐに集まります。これからの課題は、新会員を増やしていくことです。

CNDニュース

祝
Sr.マルガリタ山口満子様
平成25年10月19日誓願宣立50周年

「これからも、主の人となられた御言葉を知ること、愛することを人々に伝えたいと望みます。」
―誓願宣立50周年感謝ミサ誓願更新より―

桜の聖母生涯学習センターコーナー

立ち上がった「傾聴ボランティアさくら」

Sr.熱海　紀子

毎年、生涯学習センターで行われている「傾聴ボランティア養成講座」。大震災後は大きな社会的ニーズがあり、定員の3倍以上の申し込みがあるほどです。今回はこの講座の後に生まれた「傾聴ボランティアさくら」をご紹介します。

1．「傾聴ボランティアさくら」を立ち上げた経過

傾聴養成講座の1期養成講座が終わると同時に、ボランティアに赴きたいという希望の声が生まれました。時を同じくして、ひとつの社会福祉法人の施設から傾聴ボランティアの要請があり、それが核になって活動を始め、2期養成講座終了時に「傾聴ボランティアさくら」と銘打って立ち上げました。3期講座終了時にも希望を募り、今でも次第に人数が増えています。現在、4期講座終了までに受講生数342名（アフターケアコースも含む）のうち傾聴の認定者数138名、さらにボランティア活動の母体となる「傾聴ボランティアさくら」に登録者数が60名となりました。

傾聴スキルアップのためのロールプレイ中

2．活動内容

社会福祉法人「なごみの郷」（福島市大平寺）には月に1回（第2日曜日）現在20名くらい、医療法人「生愛会」（福島市大笹生）には月に1回（第4水曜日）4名で訪問させていただいています。飯舘村社会福祉協議会の交流事業のお茶のみ会には10数名で参加。常設傾聴コーナーは生涯学習センター内（第2、4木曜日）各10数名参加しています。そのほかにも個人的な活動として仮設住宅訪問などが行われています。

3．傾聴の実践と今後

回数を重ねるうちに顔を覚えられ、にっこりと微笑まれる時が最高の喜びを感じます。また「あなたたちが来てくれるので話せるようになったよ」というお言葉もいただいたこともあります。

困難だったことは、話のきっかけ探しです。そのきっかけ作りとして、歌、昔の遊び、あやとり、お手玉、小さな手品など取得するために、4月から講座を予定しています。また、認知症の方にも傾聴させていただいていますので、「認知症を知る」ための講座も計画しています。

今後は独居の方の訪問ができればと思っています。そのためにスーパーバイザーをお願いして、傾聴のスキルアップを図りたいと思います。

お問い合せ先／TEL 024－535－2531

ホットニュース

カフェテリア実習ユニフォームが、ファッショナブルになりました。入り口で「おもてなし」の気分で講師の菊地節子先生（17D）と学生がユニフォーム姿でお迎えしています。

学内人事異動

平成24年度採用者

相澤恵美子　准教授　食物栄養
堺　秋彦　准教授　こども保育
柴田千賀子　講師　こども保育
川井　一枝　准教授　キャリア教養

小林　祐子　事務職　入試部
高橋　望美　事務職　実験実習助手業務

平成24年度退職者

宍戸　良子　助教　こども保育
相澤恵美子　准教授　食物栄養

平成25年度採用者

後藤　真　准教授　キャリア教養
藤平明彦・アンドリュー　講師　キャリア教養

千葉　あや　助教　キャリア教養
菊地　節子　講師　食物栄養
石井　美和　講師　こども保育

赤井　英恵　事務職　実験実習助手業務

訃報

ご冥福をお祈りいたします

4K　角田恵美子さん　26・1・29
10K　吉田　礼子さん　23・4・7
17D　佐藤　邦子さん（菊池）　21・1・
20E　川崎　敏子さん（矢内）　18・11・25
21E　重富　智子さん（橋本）　25・8・21
27K　草野　紀子さん　24・3・20
38E　島貫　美和さん（坂内）　20・2
51E　小國奈穂子さん　23・3・11

シスター　澤　妙先生（CND）
2013年7月23日　ご帰天　87歳
明治学園理事長・桜の聖母学院幼稚園園長・小学校校長　歴任

栗原　キミ先生
2013年9月20日　ご逝去　92歳
桜の聖母短期大学家政学科専任講師

お知らせ

事務局より

『八重桜』等の同窓会発送文書の戻りが年々多くなっています。住所・氏名等変更がありましたら、同窓会事務局までご連絡下さい。尚、同窓会終身会費未納の方には払込取扱票を同封しております。

事務局スタッフです。
よろしくお願いいたします。
猪又陽子・羽二生厚子（21D）

編集後記

梅香るなか、キャリア教養学科第1回生60名余りを含む第58回卒業生140余名が母校を巣立つ。若人の人生に幸多かれと祈ります。

3・11から早3年。昨秋聖母幼稚園新園舎が落成、学院は復興への第一歩を踏み出した。短大、学院では、さらなる教育の充実、環境整備をはかっている。心からエールを送りたい。

皆さまのご寄稿の数々に感謝しつつ、『八重桜』第36号をお届けします。

ご意見、ご感想などお寄せいただければ幸いです。　ごきげんよう

同窓会事務局
桜の聖母短期大学同窓会（月・水／9:00～16:00）
TEL・FAX 024-534-4572　Mail ssjc-dousoukai@cb.wakwak.com　URL http://www.sakuranoseibo.jp/

編集：「八重桜」編集委員会　　印刷：タカラ印刷株式会社